1. LIVICEの説明

LIVICEとはLiving Inovation Deviceから作られた造語で、

「生活を革新する」という意味が込められています。

1. LIVICEシステムとは

生活に寄り添う端末、それが「リバタン」です。

「生体データ」、「投薬データ」、「運動量」などを意識することなくリバタンが収集し、

その情報を基にユーザへアドバイスを行います。

1. LIVICEシステムとは

「リバタン」から収集したヘルスデータを病院や製薬会社へ提供することで

「新医療サービス」を受けることができます。

ほかにも、提供した情報から生活改善の為のアドバイスなど「暮らしのサポート」を受けることができます。

1. LIVICEシステム

現在の医療では、通院や健康管理に膨大な時間や負担が掛かっています。

LIVICEシステムを利用することで通院や健康管理にかかる手間を軽減し、

健康的な生活を送れるように徹底的にサポートします。

1. LIVICEシステム

従来の診察方法では、持病を持っている人や薬の処方を求める人は毎回生活圏から出て、病院に通う必要がありました。

本当に病院にいかないとできないことでしょうか？

病院外での診察、病院から患者へのアドバイスの場があれば新しい治療のカタチが生まれるはずです。

1. LIVCEシステム

従来、通院して診察を受けていましたが、LIVICEシステムを利用することで

通院の必要性がなくなり、診察にかかっていた待ち時間から解放されます。

1. LIVICEシステムにより、何が変わるのか

②ジェネリック医薬品、健康食品などが良く出回る

製薬会社のメリット：テスタが斡旋される

服用者のメリット：安価な医薬品、健康食品を服用できる

業界のメリット：新商品の認可までの基金が短くなる→活性化

ＷＩＮ－ＷＩＮの場ができる

1. LIVCE

実際のＬＩＶＩＣＥシステムではリバタンが

自動的に心拍数などの生体データを取得しますが、

これは使用者が常にリバタンを身に着けているからできることです。

リバタンによるサポートを完全に受けるには、

一週間分以上の生体データが必要になります。

なので、今回はリバタンが判断に必要な情報を選択していただきます

あなたのライフスタイルを教えてください。

入力、出力

次の画面へ

1. 実際のデータの流れ①リバタン内部のデータ

ここで大事なのがユーザーが何かアクションを起こす必要はないということ

リバタンが自動的にアドバイスをくれる

病院側画面へ

1. 実際のデータの流れ②リバイスシステムのデータ

病院画面で医者が患者リストから患者を選択

グラフを見て、アドバイスを入力

腕時計画面に通知が来る

ここでも大事なのが、ユーザーは通知を受け取るだけということ

病院画面は一覧画面に戻しておく

緊急通報ボタン

1. 医者が具体的に比較して利用しているスライド
2. 実際のデータの流れ③緊急通報機能の流れ

リバタン使用者が緊急事態に陥ったとき、リバタンは誰よりも早く異常を感知、医師へ知らせます

病院側画面では、緊急通報があったとき、すぐにわかります

ここで医師が適切な対応を行うことが求められますが、そのためには患者がどういう持病を持っているか、どのような薬を服用しているかといった情報がないと、適切な処置が行えません

ですがリバタンとＬＩＶＩＣＥシステムは、電子カルテのような情報を格納しています

これにより、搬送された病院がかかりつけの医院でなくても、知り合いがいない旅行先でも患者に一番あった処置をすぐに行うことができます

いざというときに安心できるこの仕組みがあることにより、高齢者は気軽に旅行や外出を行うことができるようになります

1. 実際のデータの流れ③ジェネリック医薬品

医薬品を服用したとき、服用者の生体データがリアルタイムに取得できる状況はジェネリック医薬品や健康食品などのデータ収集に最適の場である。

医薬品メーカー、食品メーカーとリバイス使用者を結びつけることで、医薬品の進歩、信頼性の証明、新商品の宣伝といったメリットが得られます。

その結果、医薬品や健康食品を提供する市場が活性化する材料となることでしょう

1. まとめ

●リバタンにより、

使用者に合った健康的な生活を送るためのアドバイスを受けることができる

●リバイスシステムにより

通院の手間が格段に減る

今までにはなかった、詳細で即応性のある治療が受けられる

医薬品などの市場が活性化し、次の世代へ知識とノウハウを残せる

280文字×5分＝1400程度